

# ROSSO通信11月号

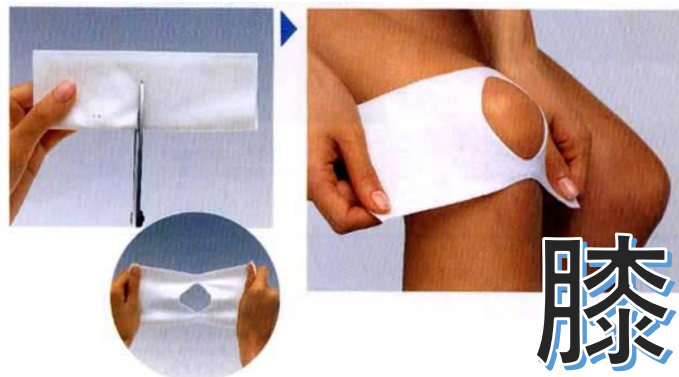
～意外と知らない湿布薬の特徴～

×: ぎらいとん

湿布薬には、テープ剤とパップ剤の2種類の剤型があります。  
これら2種類の中には、温感タイプと冷感タイプの湿布薬があります。

	テープ剤	パップ剤
粘着力	強い	弱い
推奨部位	関節等の動かす部位	動きの少ない部位
剥がし易さ	剥がしにくい	剥がし易い
厚み	薄い	厚い
水分量	少ない	多い

## オススメの貼り方



切る位置を変えると、ひざ裏や足首等の曲げる部分にも貼り易くなります。

### 冷感タイプ

患部を冷やすタイプの湿布です。  
患部に熱がある**急性期の痛み**に適したタイプです。

### 温感タイプ

局所刺激成分(トウガラシ成分等)を含有し、患部を温めるタイプの湿布です。  
血行が良くない等が原因の**慢性的な痛み**に適したタイプです。

### ～薬の使い方○×クイズ～

足を捻って足首が腫れて熱を持っているので温感タイプの湿布を使った。

答えは、右上に記載

